



# 修郎先生の事件簿2

小池雄一氏

～就労ビザ専門会社の現場から～

佐生修郎(さしゅう・しゅろう)は就労ビザ専門会社で働くコンサルタント。その幅広い知識と長年の現場経験、それに深い洞察に基づきさまざまなアドバイスをを行い、数々の困りごとを解決してきた。座右の銘は「真面目に不真面目」。

大谷翔平 大変だ、大変だ、イミグレ総局の「入国ビザ申請システム」が突然、新しいシステムに切り替わった。

佐生修郎 1月4日に事前告知があり、9日朝に稼働した。いつもの事だが、超ショートノーティスで頭ごなしに変えてきた印象は否めないね。

大谷 当局のシステムって、稼働開始当初は、いつもトラブるよね。

佐生 今回もバグが沢山出ているぞ。まるで本番稼働でシステム・テストをしてバグ潰しをしているみたいだ。

大谷 ええっ。困るなあ。来月は日本から出張者が来る。社内監査が目的だから「211B訪問ビザ」を申請しようとしていたけど大丈夫かなあ。

佐生 大丈夫、申請取得できるよ。今回の変更で入国ビザの種類が細分化され、目的別にインテックスが振りなおされた。新しいシステムでは、社内監査目的の訪問ビザはC17というインテックスがついた。

大谷 「C17監査ビザ」の発行実績はあんの？

佐生 勿論。「C17」と記載のあるeVIS(A4サイズ)が発行され、それを以って入国した実績もあるぞ。

大谷 バグがたくさんあって課題は山積だけど、トラブルに遭遇しながらも、ドタバタしながら何とか現場運用は進める、という状況かな。

佐生 「インドネシアあるある」、だね。それに「312就労ビザ」は旧システムのまま新システムに移行していない。その点は従来通りで変更なしだ。

大谷 ちょっと安心したよ。コロナ禍収束後は、旧

## 新システム、その名は Molina!?

大谷 「国防」の一端を担う入国ビザ、その申請をそこまでハードルを下げて良いのかなあ。

佐生 「国益」に供するという方向性を優先したのだろう。投資家や富裕層、有名人向けの「ゴールデンビザ」など新しいビザの種類が出てきた。

大谷 金ビザ!?

佐生 「シルバー・ヘア・ビザ」と言っていて、年齢60歳以上で5万ドル以上の銀行預金と月収が3千ドル以上の人向けのビザも設定されたぞ。

大谷 銀髪ビザ!?

佐生 「リモートワーカー・ビザ」も新しいね。国外の雇用契約に基づいて、インドネシア国内でリモートワークする人向けだ。年収6万ドル以上を証明する雇用契約書等の提示が必要だ。

大谷 個人のファンドマネージャーや幸運なミセスワタナベ、ヒルズ族や成功したイケおじをイメージしちゃうよね。

佐生 大金を持って来て投資してくれる個人や企業、インドネシアでお金を沢山使って消費増大に寄与してくれる人向けのようにだ。お金持ち向けのビザ体系と揶揄する人もいるよ。

ただ、目玉は金ビザじゃない。翔平君の実業務に絡み有益と思える新しいビザも出た。「C19アフターセーブルス訪問ビザ」と「C20機械据付訪問ビザ」だ。

大谷 それって販売済み機械のメンテナンスや修理、新しい機械の据付が目的の時に取るビザの事？それなら今までは「短期312就労ビザ」の範ちゅうだったね。

佐生 それらの活動が「就労ビザ」ではなく「訪問ビザ」の範ちゅうでできるようにになったのだ。つまり、Molinaに申請すれば済む。ということは、

手続きにかかる所要時間は5〜8営業日となり、より迅速に技術者を呼べる。

大谷 それは僕たちにとってとても大きいメリットだよ。でも、労働省当局はそれで了解しているの？ そのままなら、就労許可が要らないことになるよね。

佐生 そこがポイントだ。これからの労働省の方向性に注視が必要などところだ。

大谷 予めイミグレ総局と労働省とで調整しておいて欲しいよね。でも、正式に規定に明記され、システムの実運用でも取得可能なら、問題ないと捉えて積極的に申請を進めるべきかもね。

佐生 その通り。翔平君、どんどん新しいビザの申請に挑戦をして、その結果を有志として日本社会へ情報提供して欲しい。二刀流の先駆けの君ならきっと出来る。

こいけ・ゆういち FPCインドネシア代表取締役。89年学習院大卒、日本アイ・ピー・エム入社。フジスタップへ転職後インドネシアでの事業開発を手掛ける。帰国後に独立。「夢ある街のたいやき屋さん」FC経営を経て、12年8月より現職。栃木県生まれ。57歳。

※本連載は、実際に起きた事例を参考に、インドネシアに滞在、就労する上で気を付ける点について説明するもので、登場人物や事象はフィクションです。実際の事案に対応する場合は、専門家に相談の上、各自のご判断でご検討ください。

「修郎先生の事件簿2」は、原則、毎月第1水曜日に掲載します。

### 佐生修郎 心得の条

一 イミグレ総局の新システム「Molina」が稼働。バグも沢山あるが、各種ビザの申請取得は可能なので、積極的に申請を進めること。

二 今はまだ労働省の出方等、未知な領域がある。新しい実体験を得たら、有志として体験情報を共有し、日本社会への貢献を心掛けること。